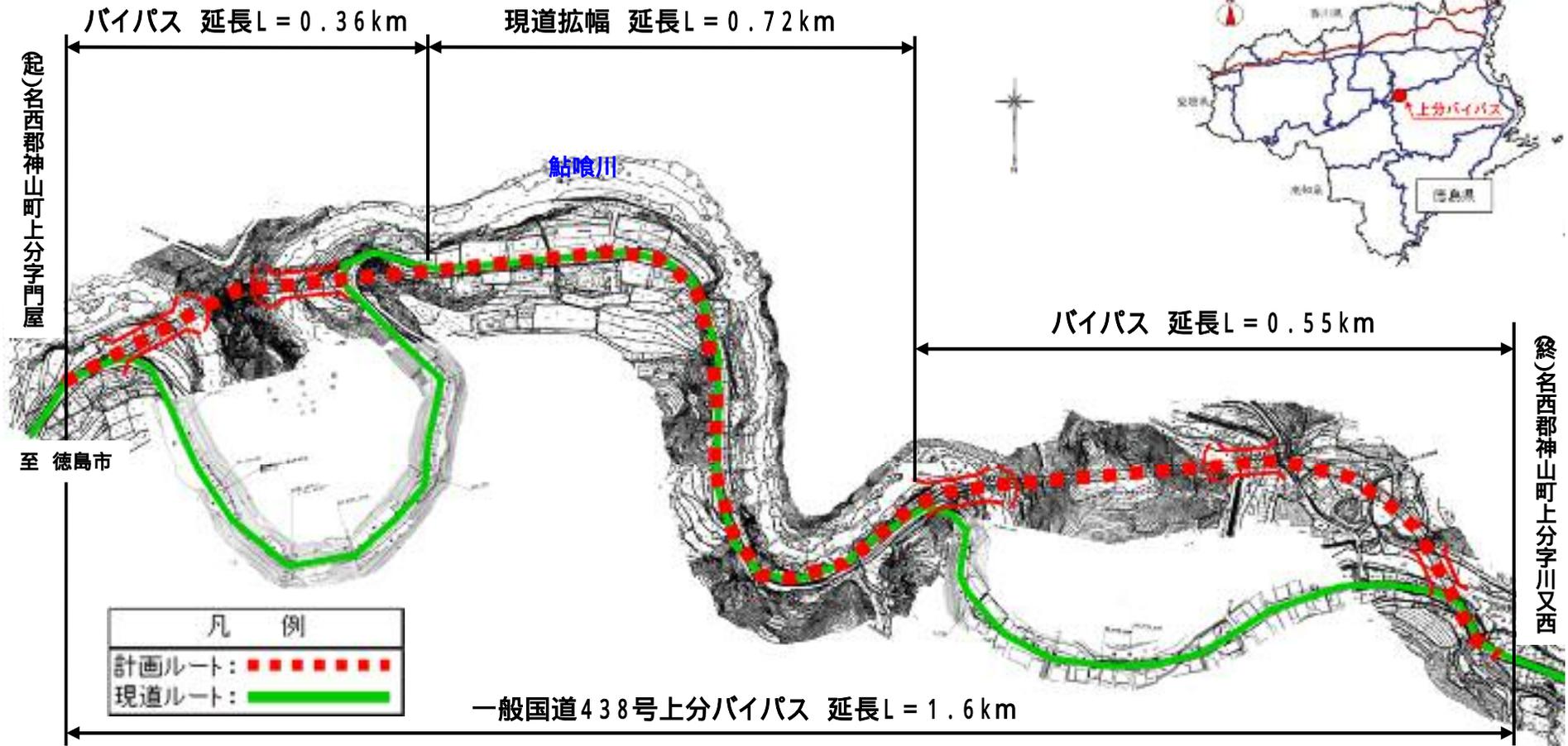


再評価【番号1】

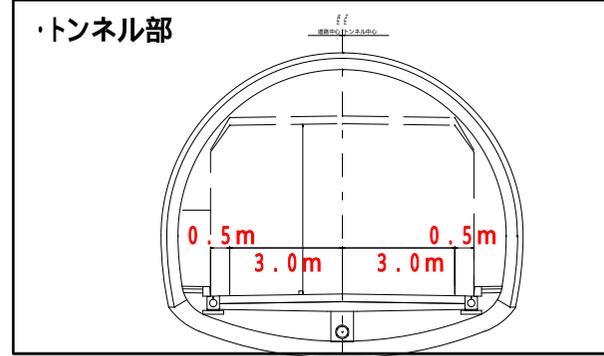
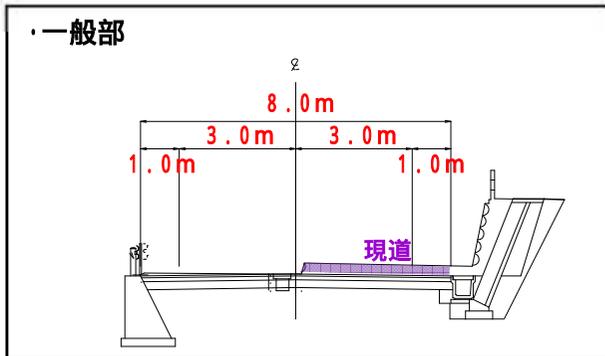
一般国道438号
上分バイパス

1. 事業概要

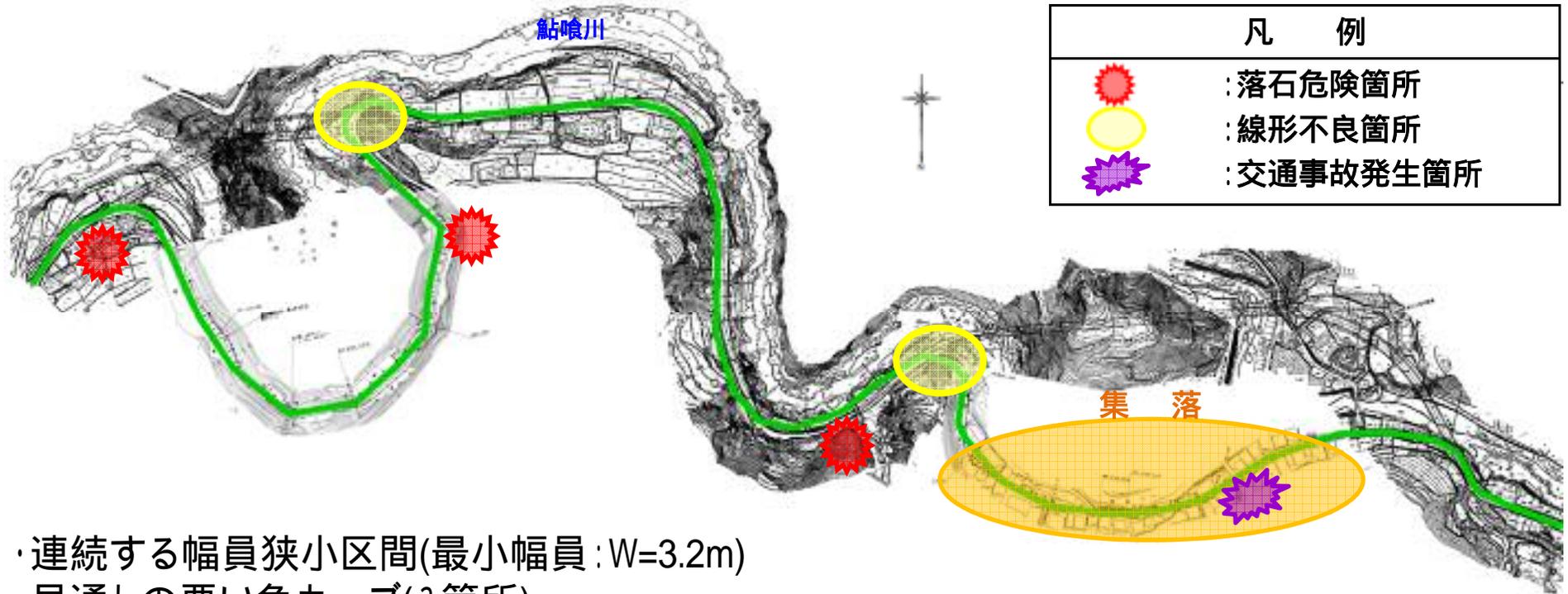
平面図



断面図



2. 現道の道路交通上の課題



・連続する幅員狭小区間(最小幅員: $W=3.2m$)

・見通しの悪い急カーブ(2箇所)

➡ **車両の対向が困難**

・落石危険箇所(3箇所)

➡ **安全な通行に支障**

・現道が人家連担区間を通過

➡ **交通事故の危険性**

【道路利用者の声】

カーブが多く、幅員が狭いため、不慣れな他地区からの車が内回りしてくるため、大変危険を感じる。

(50歳代男性)



現道の対向状況



事故発生箇所付近の状況

3. 道路整備による多様な効果 【貨幣価値換算可能な整備効果】

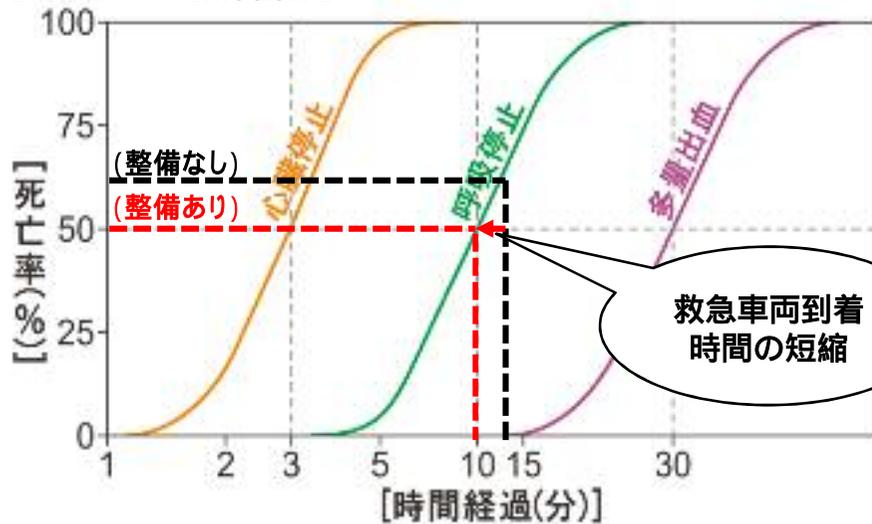
その他の便益

医療

救急医療へのアクセス向上

- ・ 神山町消防署から集落までの**救急車両到達時間が短縮**されることにより、**救命率の向上**が見込まれる

【カーラーの救命曲線】



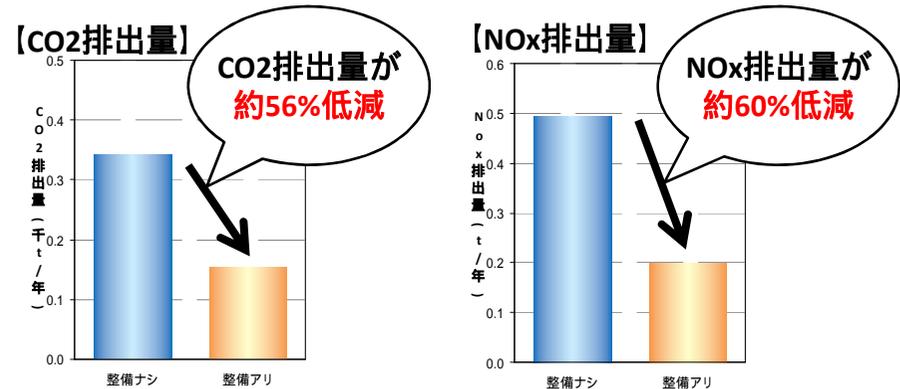
- ・ 呼吸停止後の死亡率が**約20%低減**

救命率の向上効果 : 8.4億円

環境

地球環境の保全効果

- ・ **CO₂、NO_xの排出量が抑制**されることにより、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる



大気汚染・温暖化防止効果: 0.1億円

騒音低減効果

- ・ 現道の通過交通がバイパスに転換することにより、**現道沿いの騒音の低減効果**が見込まれる。

騒音低減効果 : 0.1億円

4. 道路整備による多様な効果 【防災・減災】

【防災・減災】 災害に強い道路ネットワークの構築

緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・幅員狭小の解消 (W=3.2m → 8.0m)
- ・線形不良の解消 (2箇所 → 0箇所)
▶ 走行性の向上により、物資輸送等が円滑に
- ・落石危険箇所の解消 (3箇所 → 0箇所)
▶ 安全性の向上により、確実な走行が可能に

災害拠点、避難場所へのアクセス強化

- ・工区周辺のヘリコプター降着適地、避難場所等へのアクセス性が向上
▶ 地域防災力の向上により、災害への確実な備えに



5. 道路整備による多様な効果 【安全・安心、産業振興】

【安全・安心】地域内の安全な通行の確保

安全安心の確保

- ・人家連たん区間内を通過している幅員狭小な現道を迂回
- ・事故発生箇所を迂回 (H19.9月に発生)

⇒ 歩行者の安全を確保



現道の通過交通が
バイパスに転換し、
歩行者の安全を確保

歩行者通行状況

【産業振興】地域経済の活性化

物流の効率化

- ・中央卸売市場までの搬送時間が約6分短縮

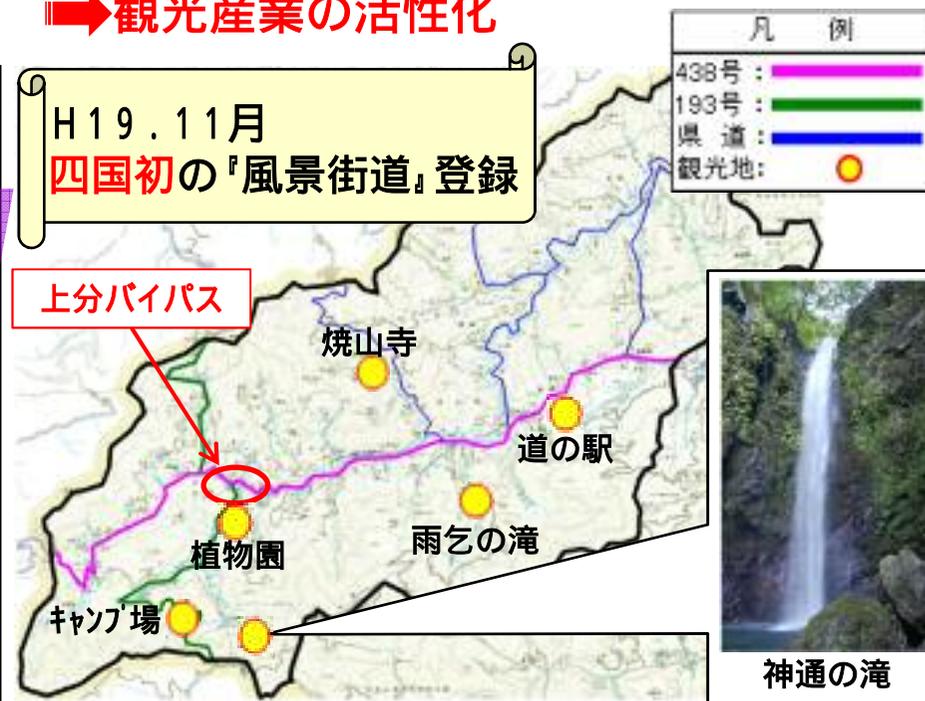
⇒ 農作物等の輸送の効率化



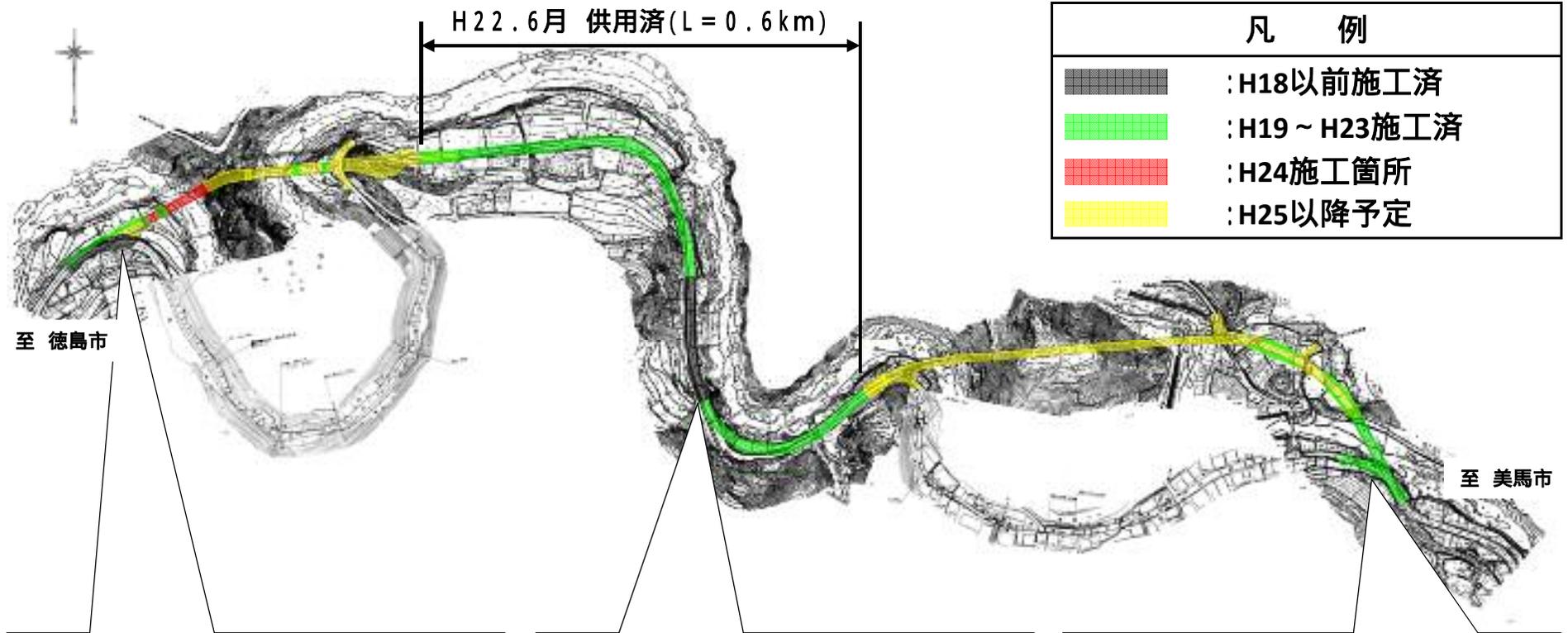
魅力ある観光地域の形成

- ・運転に不慣れな観光客等の安全性が向上

⇒ 観光産業の活性化



6. 事業の進捗状況



7. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **32.0億円**
(現在価値化後)

+

その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果 8.4億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 0.1億円
- ・ 騒音低減効果 0.1億円

※費用C=29.5億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.1$$

(参考) その他の便益を含むB/C=1.4

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

緊急輸送道路ネットワークの強化
道路の走行性、安全性が向上
災害拠点、避難場所へのアクセス強化
地域防災力が向上

安全・安心

安全・安心の確保
現道における人家連たん区間を迂回し、歩行者の安全を確保

産業振興

物流の効率化
輸送の効率化
魅力ある観光地域の形成
観光産業の活性化

今後の対応方針(案)

事業継続